

宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第7回）議事概要

日 時 平成30年11月14日（水）18：30～20：30

場 所 市役所3階 特別会議室

出席者 まちづくり協議会 代表18人（欠席2人）
市民交流部 古家部長、上田室長、新城課長
市民協働推進課 吉岡課長、山田係長 他
政策推進課 湯川課長
宝塚市社会福祉協議会 和田課長
関西総合研究所 宮本 他
OM環境計画研究所 大森 他
宝塚NPOセンター 馬越
傍聴9人

議事概要（要旨）

- 1 共同募金運動へのご協力のお願いについて
宝塚市社会福祉協議会より、配布資料に基づき、平成30年度歳末助けあい愛の持ち寄り運動へのご協力のお願いについて説明を行った。
- 2 総合計画の策定に向けた「市民ワークショップ」の参加者募集について
政策推進課より、配布資料に基づき、同ワークショップの参加者募集について説明を行った。
- 3 宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第6回）議事概要の確認
各まちづくり協議会代表者により、宝塚市まちづくり協議会代表者交流会（平成30年度・第6回）議事概要の確認が行われ、承認された。なお、以下の点について修正があった。
【修正点】
 - ・2ページ2行目
⇒「10/27、11/18、12/1の3回、それぞれ」を削除。
 - ・2ページ3行目
⇒「良いところ悪いところなど色々な観点」を「良いところ、気になっているところなど色々な視点」に修正。
 - ・3ページ21行目
⇒「アンケート調査は11月中に回収する。」を削除。
- 4 地域ごとのまちづくり計画の見直しについて
 - (1) 計画の見直し組織の形態、取組状況・予定の報告
【すえなり】
 - ・第一分科会、第二分科会の委員について、希望の分科会を聞き、今集計をしている。これに基づいて12/16に第2回のまちづくり計画見直し委員会を開催する予定にしている。**【宝小】**
 - ・現在は、将来のビジョンと身の回りの課題の改善提案を集めている。母数を広げるためにアンケートをする。そして、総合会議に向けての準備を始めたいと思っている。**【小浜】**
 - ・10/27に人権文化センターにて、小浜の良いところ、気になっているところやこんな地域になったらいいなということについてワークショップを行った。「小浜はマンション

がないため、空が良く見えて良い」という意見が出るなど、違う観点からの斬新な意見があった。

- ・事業所、地域の方と保護者に向けたアンケートの回収が終了した。
- ・小浜小学校の5・6年生のアンケートについては、授業の中で取り組んでもらえた。今後は、これを集計していく。

【売布】

- ・10/1からアンケート調査を実施し、小学校4～6年生の児童の回答は329名、保護者の回答は274名あった。また、10/24にネットワーク会議にてワークショップを行っている。これらの内容について、12月中にまとめ、来年の2月頃にはある程度の方向性を示し、検討に入っていく。3月にはほぼ完成させたい。

【西山】

- ・10/13に野上、10/28に宝梅、11/10に千種にてまちあるきを実施した。
- ・児童館の運営委員会で子育て支援の話があった。
- ・防災訓練や避難訓練の結果を踏まえ、11/25に第4回の策定委員会を予定しており、まちあるきの結果報告を予定している。

【中山台】

- ・アンケートの内容や対象者について、10/28に見直し会議をやったが間に合わなかったため、11月の前半に作業班を設け、案を作成した。これを11/25の全体の見直し会議に提出し、決定する。アンケートの対象は、基本的に全世帯、すなわち自治会員も非会員も含む。約5700世帯くらいになる。各世帯で何枚アンケートを書いてもよいということとした。12月に印刷し、12月後半から1月いっぱいにかけてアンケートを回収する。小学校などに対するアンケートは、タイミングをずらして取っていきたい。

【すみれ】

- ・前回の代表者交流会から今日までの間に、3回ほどまちづくり計画についての会議を実施した。いずれもアンケート内容に関わるもので、1回目は、地域特有の問題については、浮彫にするためのアンケート内容を考えたいということで、30人ぐらいのワークショップで意見を出し合った。2回目は、10名程度のプロジェクト会議において、どういう形でアンケートについてまとめるか話をした。11/30に正式な案を準備して、年内にアンケートを配布する予定。

【安倉】

- ・7月末の盆踊り大会で簡単なアンケートを実施したが、抽象的な回答が多かったため、新たに設問を変えたアンケートを作成中である。
- ・11/10の「安倉の未来を考える会」（ネットワーク会議）に、今回は30人強の人が興味を持って参加し、いろんな意見が出た中で、アンケートの設問を作っているところである。11/24の運営会議で検討した上で、年始ぐらいで回答してもらおうという形で計画している。回答方法としては、紙面や二次元バーコードで回答する方法を用意し、また、郵便局やコープなどにアンケート回収箱を置かせてもらう予定。足りなければ、2回目、3回目のアンケート調査をした中でより良い方向に進めていきたい。

【一小】

- ・小学校5年生186名に実施したアンケートの回収を終えた。授業の一環で実施してもらえた。内容は今後まとめていく。
- ・12/6に開催する光ガ丘中学校の生徒会との座談会の件について、11/6に先生方と話し合い、進め方について決定した。
- ・11/19にプロジェクトチームの会合を行う予定。大人に対するアンケート調査を回収しているので、継続してまとめていく。また、5年生の内容確認も行う。1月頃には内容を分析していきたい。

【末広】

- ・11/10に会合を実施。
- ・アンケートから読み取ったまちの改善点は大きく3つ。高齢化によりコミュニティの運営が各部で困っている状況のため、新たな方を勧誘しなければならないという点、道

- 路・歩道の拡充の点、武庫川がオーバーフローした際の対応策の点である。
- ・新たな部会等を作らず、今ある見直し計画部会の中ですべてをやっていくことになった。ただし、道路については自治会が一番良く知っていることなので、自治会でまとめてもらうことになっている。
 - ・防災について次回検討することとなった。

【長尾】

- ・前回の代表者交流会においては、約 300 件のアンケートで 204 件の回答があり、68%の回収率と申し上げたが、ネットなどの回答を含めると回答数は 337 件となった。
- ・平成 31 年 1 月～3 月で具体的な取組の内容の検討、5 月に計画案の公開意見の聴取、12 月末に変更点があれば修正して計画完成を予定している。

【ゆずり葉】

- ・代議員、民生委員や事業者など 20 団体の代表者 40 人がまちづくり計画に対する見直しの課題討議に関わっている。
- ・実行委員会で追加変更した項目を入れて承認を取っている案は、将来像 5 項目、具体的な計画は 40 項目となっている。これをまちづくり計画の原案として 1/1 付けの広報誌に詳細に掲載し、周知したいと考えている。

【高司】

- ・課題においてのアンケートは小学校など地域の皆さんから出してもらって集計しているところ。
- ・子どもはまちを良く見ているというのをアンケートを見て感じた。計画に反映させていきたい。

【仁川】

- ・7つの部会があり、すべての部会からのアンケートが出そろった。
- ・防災関係は特に重要だと考えている。
- ・年内にできるだけ案をまとめ、年度代わりには柱となる案を作っていきたい。

【良元】

- ・いろんな種類の事業所があるため、資源の掘り起こしも含め、事業所アンケートの準備をしている。

【ひばり】

- ・11/17 に第 3 回会議を予定。進捗状況の報告を行う。

【光明】

- ・今年度に 5 回のまちづくり計画の検討委員会を開催し、前回分のまちづくり計画のチェックが終了した。
- ・これからは自治会や P T A などとざっくばらんに話をしながら進めていきたい。

【山本山手】

- ・11 月の初めにアンケートを配布。配布対象は、自治会に入っている方も入っていない方も共にしている。また、山手台のケアセンターにも配布。12 月の初めに回収予定。インターネットからも回答ができるようにしている。交通問題、防災を重点的にアンケートの内容に盛り込んでいる。12 月に集計する予定である。

(2) 意見交換（アンケート様式についてなど）

- 意見交換の内容の概要については以下のとおり。
- ・子どもはすごくよく見ている。小学校に向けて自由に書いてもらうアンケートを実施した。小学生の意見の中には、「まちづくりに参加できた」という意見があった。
 - ・放課後教室や見守りなどを行う中で、子どもたちからこういった取組を続けてほしいという意見があった。
 - ・12 歳のまちの見方は大人と必ず違う。
 - ・人々が集まれるまちでないといけない。
 - ・10 年前にアンケートを実施しているため、今回のアンケートでは特に子どもたちや中学生の思いを知るために実施した。

- ・小学生のアンケートの実施方法としては、授業の中で先生と一緒にアンケートに回答してもらったりした。今までこちらでは気付いていなかったことを指摘してもらっている意見もある。
 - ・子どもたちは問いかけたら素直な意見が返ってくる。
 - ・気を付けないといけないのは、子どもたちにアンケートを取った際の我々の責任の点。子どもたちの意見・思いをどこまで形に表せられるかが大事。形に表せられなければ、子どもたちのやる気を失わせることにつながってしまう。
 - ・アンケート回収箱を信用金庫等に置いてよいか尋ねた際、記名式はダメだが、無記名であればよいと言われた。好意的な返事であったため、ありがたい。
 - ・行事に対する男性の出席率については永遠の課題である。
 - ・麻雀クラブは非常に男性が多い。
 - ・若いお母さん方でもっている。男性は自治会長が多い。盆踊りの準備等では、重いテントのパイプなどを若い女性が率先して運んでくれている。PTAや育友会の方が多い。行事に男性が出てくることは少ない。
 - ・コミュニティの役員会にPTAの副会長が入ることになっている。1年で辞めてしまう方も多いが、コミュニティ活動を継続してくださる方もいる。役割を担ってもらうことが大切。
 - ・これからの時代は働くお父さんお母さんがまちを支えていかないとまちづくり計画は成り立たない。
 - ・家族のために時間を使うため、土日の会議に出てこれないという方もいる。
 - ・市の職員が地域に参加している。その促進というのを市でやっているのか。
- ⇒市：地域活動きずな研修を始めており、事前研修の際にも、まちを知り、地域の活動に興味を持ってぜひ参加してほしいと職員に言っている。また、研修が終わっても地域の祭りに顔を出したりしている職員もおり、少しずつそういう意識が広がっているのではないかと考えている。

5 まちづくり協議会代表者交流会（ワークショップ）の開催について
市民協働推進課より、配布資料に基づき、同交流会（ワークショップ）の開催について説明を行った。

6 市民協働推進課からのお知らせ
下記(1)～(4)について、資料を用いるなどして周知した。

- (1) 市民と市長のテーブルトークについて
- (2) 市民活動促進支援事業について（宝塚NPOセンター）
 - ①平成30年度補助金・助成金事業一覧について
 - ②その他
- (3) 宝同協だより「芽生え」について
- (4) 第27回障害者週間記念事業「なくそう心の段差」について

7 その他
特になし。

8 今後の日程
第8回日時（ワークショップ）：平成30年12月12日（水）14：00～16：00
場所：市役所3階 大会議室

第9回日時：平成31年1月9日（水）14：00～16：00
場所：市役所3階 3-3会議室